



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“ロータリーに輝きを”

RI会長
ゲイリー C.K.ホアン
2570地区ガバナー
坂本元彦

「行動，ACTION」

第2644例会 2015. 4. 22

—— 雑誌 月 間 ——

天候 晴 (NO. 51-43)

会長 山川 莊太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 坂本君、土屋(良)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 山川会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・米山記念奨学生 ホアン・フォン・チーさん
- ・卓話 関口定男様

【会長報告】

新緑美しく空気もおいしい時期。SAAはのどが痛くてあまり声が出ません。矢島(巖)会員も4日は大変でした。風邪にはご注意ください。本日、緊急理事会。結論は出ていませんが交渉を任されています。本日4/22は「良い夫婦の日」、「アースデイ」180か国12,000団体、約2億人が参加する世界最大の環境フェスティバル。チーさんに奨学金を贈呈します(拍手)。



◎チーさん挨拶

1年間お世話になり有難うございます。今年もよろしくお願ひ致します。土屋(良)さんご夫妻が郷土館に連れて行って下さり素敵な景色が見れました。吉田屋呉服店さんでは可愛い浴衣も頂き嬉しいです。いつも優しくしてくれて有難うございます。4月から4年生。卒業したら帰国するか日本で働くか悩んでいます。せっかく日本の大学で勉強したので日本の企業に勤め、日本の会社のしくみ、日本人の働き方について学びたいと思い、日本で就職する事に決めました。忙しい年になると思いますが内定をもらうため全力で頑張っていきたいと思ひます。

【幹事報告】

5/13役員会。例会休会の4/29「奥武蔵・天覧山周辺再生の会」による「天覧山市」(天覧山中段、9~13時)、是非ご参加下さい。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 森君
封筒に旅行代金の振込先が入っています。5/11までをお願いします。1人部屋、お子様連れの方は料金が加減されています。

◎青少年奉仕委員会 杉田君
5/24「第13回飯能新緑ツーデーマーチ」10キロ。会員参加費は委員会で、夫人・友人の分は自己負担をお願いします。

◎職業奉仕委員会 田辺君
記念誌作成にあたり職奉事業「我等の生業」を全員から頂きました。有難うございました。親睦旅行では商店街視察、講話を頂きます。

◎次年度幹事 土屋(崇)君
4/19 (R)地区研修協議会に会長幹事、四大奉仕、地区研修リーダー、青少年部会、R財団、米山奨学の各委員長、総勢10名で参加。一人も「早く帰ろう」という人は居らず、みっちり研修しました。昨日より次年度座談会開始。無断欠席されませんようお願い致します。

【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
59名	6名	50名	84.76%	50周年振替日休日のため訂正はありません

【M U】

4/13 (新狭山) 半田君

4/17(飯能日高合同親睦ゴルフ大会)

新井君、馬場君、細田(伴)君、半田君、市川(昭)君
伊澤君、神田(勲)君、森君、本橋君、前久保君
中里(忠)君、大崎君、坂本君、田辺君、吉田(健)君
矢島(巖)君、山川君、矢島(高)君、吉澤君

4/19(地区) 間邊君、土屋(崇)君、安藤君、増島君
神田(康)君、馬場君、島田君、森君、新井君、土屋(良)君

4/21(日高) 矢島(高)君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・本日、米山奨学生のホアン・フォン・チーさんを飯能、日高市内等に案内しています。吉田屋さんにお寄りして吉田さんと奥様にお世話になりました。吉田さん有難うございました。 土屋(良)君

・大野さん、初めての例会は如何ですか？早く慣れロータリーライフをエンジョイして下さい。山川君

間邊君、小川君、高橋君、矢島(高)君、本橋君

・誕生日祝い有難うございます。 本橋君

・関口様、本日はよろしくお願ひ致します。 山川君、間邊君、小川君、高橋君、矢島(高)君

・早退 矢島(巖)君、安藤君、小崎君、森君

本日計 15,000 円、累計額 1,050,636 円。

◎ 13 日例会当番は田辺、土屋(崇)会員です。

【卓 話】

講師紹介 和泉プログラム委員長

S23年、ときがわ町(旧玉川村)生まれ。飯能高校、大東文化大学卒業。S44年、太平工業(株)入社。S49年、代表取締役就任。セキグチホーム他、複数の会社を立ち上げ経営。H3年、玉川村議。H11年、玉川村長。H18年、都幾川村と合併、ときがわ町長に就任。H23年、埼玉県町村会会長。H26年、同会顧問。「ときがわ方式」で教育環境を整備。建物を壊さずに木材も使う耐震補強。全国初。

全国の取り組みをリードする「小さな町の挑戦」 ～ときがわ方式の地域産木材利用～

ときがわ町 町長 関口定男様

ときがわ町は面積の7割が山林(日本全体でも割合は同じ)。人工林はそのうち約7割。日本では4割です。これをどう活用するかが問題。

私は会社経営を20年以上やっておりました。「イノベーション、オリジナリティー、ローコスト・マネージメント」は経営の心髄。これを頭に入れて村政、町政運営をやって来た。村長になった時、「バランスシート」が無く、歳入歳出だけでは経営出来ないため全国で初めて導入。首長には資産、負債をしっかり把握しながら運営して頂きたいという思いがあった。とかく行政職員にはコスト感覚があまり無い。コスト意識を持つ意味で対照表を作った。

「ときがわ方式」築40～50年の建物の耐震補強。外壁塗替えと屋根の防水。普通ペンキで仕上げる内装を木質化する事で新築とほぼ同じ状態になる。森林資源を有効に活用出来る。学校はぬくもりと癒しの効果を持ち、子ども達の環境が非常に良くなった。伐採・植林で山の活性化も期待出来る。

村長就任の翌H12年、築43年の「玉川小」は耐震補強を含め約1億円で出来た。新築とすっかり同じです。「都幾川中」も建替えれば13億のところ7億円で出来た。廊下のこの部分に木を貼る事で空気層が生まれ、調湿、遮熱、遮音、いろんな機能があり結露も無くなる。夏休みだけで出来る。1回



目の夏休みに耐震補強と外壁と屋根。2回目の夏休みに内装木質化をやる。予算面でも5千万と5千万にばらけるので組み易い。湿度が30%以下にならないのも木質の良いところ。風邪をひく子どもが減りました。

昨年11月、岩手県で開催された「全国木のまちサミット」で講演。梁は鉄骨です。木にすると値段が高くなってしまいます。何でも木にするのではなく使い方です。鉄骨を木で被覆すれば火に強くなる。鉄骨だけだとグニャリとなってしまいます。「木は燃えるもの」と考えがちですが、鉄骨よりも余程木の方が火には強いのです。

14年かけて公共の建物全部を終えた。本庁舎も52年経っているが新築とほぼ変わらない。コンクリート製の体育館も木を貼った事で吸音され音が良くなった。「吉見町保健センター」H25年4～10月の電気代59万円が施工後H26年は52万。暑かった年で、他は補正予算を出したのに反対に安くなったと、町長から電話がありました。

木の寿命についての勘違いは「固定資産税」の「耐用年数」(木造35年、鉄骨40年、鉄筋コンクリート60年)のため。法隆寺は1400年ももっている。メンテナンスをしっかりとすれば何年でももつ。外壁を30年に1回位塗り替え、中は子ども達に掃除させれば木は100年、200年ともちます。

H24年、日本には49億立米の木質材料がありこれが毎年1億立米ずつ増えている。スギ花粉は「公害」で、国で取り組むべきです。人工的にやった事なので直せません。木は植えて40年過ぎるとCO2を吸わなくなり、100年経つと逆に排出する。50年経ったら伐らなければダメなのです。使ってもらわないと伐れない。私が言いたいのは「木は使いましょうよ」という事です。東京の市場にどんどん出す。外材より1、2割高くても、使う人に理解してもらおう。年間の木材消費量7千万立米のうち5千万が外材。1億立米ずつ増えているのに国産材を2千万しか使っていないために8千万ずつ増えている。この状態を理解してもらわないといけ無い。外材はCO2を吐きながら船が運んで来る。地元の木を使ってもらうことでCO2の削減にもなる。

私も少し関わり、H22年、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が出来た。官公庁の建物に木を使つてはダメという法律が出来てから60年も来てしまった。「ときがわ方式」を考えれば、建替えより改修へという方針も文科省で決まった。全国3万2千戸の小中学校を全部建替えれば38兆円。「ときがわ方式」でやれば8兆円。5分の1で出来ます。国が本気で取り組んでくれればそのお金が福祉に回る。木を使う事でいろんな良い波及効果が生まれます。

一番重要なのは全国の市区町村でサイクルを作つてやるという事です。今までの「植えて、育てる」に「活用」を入れる。環境省はスギ花粉を「公害」だと思っていない。国交省は建築基準法の内装制限、「木は燃えるから」等と言っている。

「国土をどう守るか」という大事な話を官僚の方々にもしていきたい。「西川材」の産地・飯能でも木に対する理解を進めて頂き、木の利活用にご尽力頂ければと思います。 ※次週の例会案内は省略。